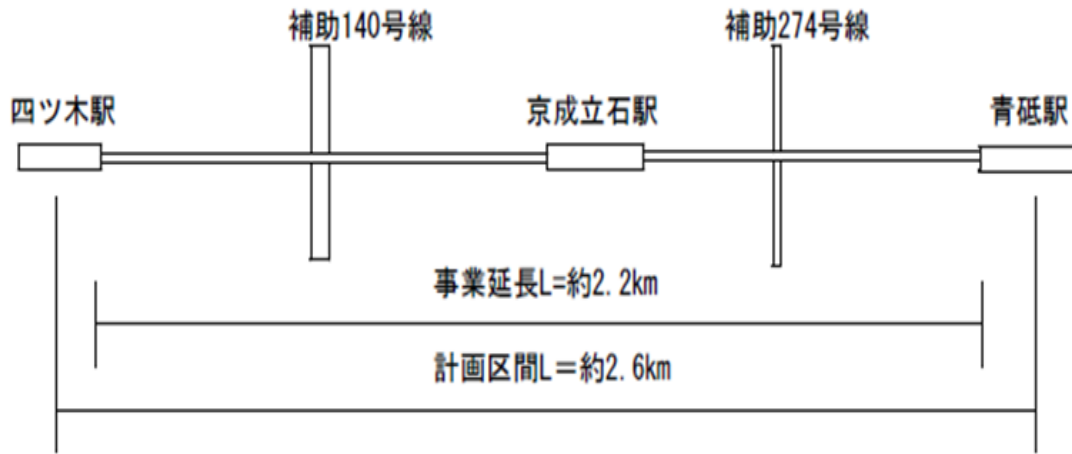


再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：都市局街路交通施設課
担当課長名：本田 武志

事業名	京成電鉄押上線（四ツ木駅～青砥駅間）		事業区分	連続立体交差	事業主体	東京都葛飾区	
起終点	自：東京都葛飾区東四つ木 至：東京都葛飾区立石				延長	1.1 km	
事業概要	<p>・京成電鉄押上線の四ツ木駅から青砥駅間を連続して立体化し、補助140号線（平和橋通り）を含む11か所の踏切を除却することで、日常的な交通渋滞の解消、安全性の向上、鉄道による地域分断の解消を図る。</p>						
平成14年度事業化	平成12年度都市計画決定	平成14年度用地着手	平成27年度工事着手				
全体事業費	483億円		事業進捗率	25.4%	供用済延長	0km	
計画交通量	201,085台時/日（踏切交通遮断量）						
費用対効果分析結果	B/C	1.4	総費用	（残事業）/（事業全体）		総便益	（残事業）/（事業全体）
	（事業全体）		－/447億円	－/630億円		基準年	平成28年
	（残事業）	－	事業費	－/447億円		走行時間短縮便益	－/510億円
			維持管理費	－/0.20億円		走行経費減少便益	－/64億円
						交通事故減少便益	－/56億円
感度分析の結果	<p>（事業全体）交通量：B/C＝－～－（交通量±10%）（残事業）交通量：B/C＝－～－（交通量±10%） 事業費：B/C＝－～－（事業費±10%）事業費：B/C＝－～－（事業費±10%） 事業期間：B/C＝－～－（事業期間±20%）事業期間：B/C＝－～－（事業期間±20%）</p>						
事業の効果等	<p>・踏切を除却することによる日常的な交通渋滞の解消及び鉄道による地域分断の解消を図るとともに、事業を契機とした地元まちづくりの推進に寄与する。</p>						
関係する地方公共団体等の意見	－						
事業評価監視委員会の意見	<p>・事業の継続を承認する。</p>						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>・京成立石駅南口地区市街地再開発事業について平成25年度に準備組合を設立するなど、周辺のまちづくりの計画が進んでいる。</p>						
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>進捗率：用地取得約85%（面積ベース）、一般部の家屋事前調査等の準備工事に着手 残事業：用地取得約15%（面積ベース）、仮線工事、高架橋工事、建築工事など</p>						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>・平成27年度末で一般部用地は事業に必要な用地取得を完了している。駅部用地については、引き続き、着実に用地取得を進めていく。</p>						
施設の構造や工法の変更等	<p>・特になし</p>						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	<p>・踏切の除却により、交通渋滞や、踏切事故の解消及び鉄道による地域分断の解消を図るためには必要不可欠な事業であり、早期完成に向け事業を進めていく必要がある。</p>						

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。